



ほこすぎ

NO.463
令和7年6月26日
豊崎小学校学校便り
全校児童 34名
文責 前川原 泉音



読書のすすめ

校長 山口 徹

きのうまで「読書・メディアコントロール週間」が実施されましたが、各家庭においては、いかがだったでしょうか。

以下、改めて、読書の効果について。

読書には、知識や教養を深めるだけでなく、思考力や想像力を高め、ストレス解消にも繋がるなど、様々なメリットがあります。

読書の良い点として、まず、様々な知識や情報を得られることが挙げられます。歴史、科学、文学、経済など、様々なジャンルの本を読むことで、自分の興味関心を広げ、世界をより深く理解することができます。また、読書を通して、新しい価値観や考え方に触れることで、視野を広げることができます。

さらに、読書は脳を活性化させ、思考力や記憶力を向上させる効果があります。文章を読み物語を追うことで、脳が活発に働き、思考力や記憶力が向上します。また、読書は語彙力を増やし、文章力を高めることにも繋がります。

加えて、読書はストレス解消にも効果的です。物語の世界に没頭することで、現実のストレスから解放され、リラックスすることができます。また、読書は想像力を刺激し、心を豊かにする効果もあります。

上の文章は、実は「読書のよさ」というワード検索からAIが瞬時に打ち出した文章です。

ITを駆使すれば、「読書のよさ」を、読書をせずとも、理解することができます。とても便利ですが、なんだか皮肉ですね。(AIが制作したこの文章、何となく硬く機械的な感じがするのはわたくしだけでしょうか?)

多くの仕事が、人間からAIやロボットに置き換わろうとしている昨今。だからこそ、人

間にしかできない感性を大切にしていきたいと考えています。その一つが読書です。

学校では、体験学習を多く取り入れると同時に、読書活動の充実も図っています。先日は、地域のの方が来校してくださり、読み聞かせを行いました。また、定期的に司書さんが来校して図書室を整備したり、市の移動図書館が来たりと、本に触れる機会を設定しています。



今回の「読書・メディアコントロール週間」の取組では、昨年度と変更した点があります。それは、おうちの人に読み聞かせをしてもらった本もカウントすることとしたことです。家族みんなで本に親しんでいる時間そのものが、とても価値あることととらえたからです。

八戸市全体では、読書を奨励する「マイブック推進事業」が実施され、毎年恒例の「マイブッククーポン」が一人一人に配付されました。これを機に是非、親子で本についておしゃべりをしてほしいと思います。どんな本を購入したいか、どこの本屋さんに行きたいか…。そして、本屋さんに行った時には、陳列されている本棚を悩みながら歩き、自分で読みたい本を選ぶ。本の厚み、紙のにおい、帯に書いているコメント…。その行動自体が、本に対するワクワク感を高めるきっかけになるのではないかと思います。このワクワク感は、AIからの情報だと味わえません。人間しか味わえない実体験としての心の動きです。そこから、人間らしいたくましく生きる力が培われていくはずです。

6月の「読書・メディアコントロール週間」は終了しましたが、今後も、メディア(スマホやゲーム機など)とうまくつきあいながら、様々な本に触れ、本に親しみ、読書する習慣がつくように言葉がけをお願いします。

※今号の学校だよりの校長の巻頭言は、このように2行にレイアウトしてみました。スマホによる閲覧を考慮したつもりですが、いかがでしょうか。